

[前画面へ戻る](#)

科目名	地域と都市
科目名(英訳)	Urban Geography
科目ナンバー	HH234A02
詳細情報	授業外学修時間: 週4時間
担当者 (非)は非常勤講師	大塚 俊幸
単位数	2
開講学年	2年
開講セメスター	秋期毎週
対象学科 選択・必修	必修: 選択: HH
他学科受講	
履修順序・履修情報	類似科目情報あり
担当者及び時間割	
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	地理学分野テーマ科目。各分野・地域の概要を理解するための基礎的な科目である。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ②:◎ ③-(1):○ ③-(2):○
身につく基礎力 / 身につく汎用力	傾聴・受信力 クリティカル思考力 / 専門的知識・技能 思考力 学び続ける能力

授業の主旨 (概要)	本講義では、都市で起きているさまざまな事象を取り上げ、その実態を詳しく解説する(傾聴・受信力)とともに、その背後に潜む社会経済的状況や発生メカニズムについて考える(クリティカル思考力)。	
具体的 達成目標	(1)都市の見方、考え方を学び、都市地理学に対して関心を持つことができる(傾聴・受信力)。 (2)都市地理学に関する図表を読み取るための基礎的な能力を養うことができる(クリティカル思考力)。	
	1	【内容】 1. 人文地理学における都市 【授業外学習】 各回のテーマに関して指定された教科書を読んだ上で受講する。講義内容に関して関心をもったことを調べたり、考えたことを文章化する。
	2	【内容】 2. 都市間の結合関係 【授業外学習】 各回のテーマに関して指定された参考図書を読んだ上で受講する。講義内容に関して関心をもったことを調べたり、考えたことを文章化する。
	3	【内容】 3. 都市の内部構造 【授業外学習】 各回のテーマに関して指定された参考図書を読んだ上で受講する。講義内容に関して関心をもったことを調べたり、考えたことを文章化する。
	4	【内容】 4. 都市の商業・サービス業 【授業外学習】 各回のテーマに関して指定された参考図書を読んだ上で受講する。講義内容に関して関心をもったことを調べたり、考えたことを文章化する。
	5	【内容】 5. 小括 【授業外学習】 各回のテーマに関して指定された参考図書を読んだ上で受講する。講義内容に関して関心をもったことを調べたり、考えたことを文章化する。
		【内容】 6. 都市の工業

④ 授業計画	6	【授業外学習】	各回のテーマに関して指定された参考図書を読んだ上で受講する。 講義内容に関して関心をもったことを調べたり、考えたことを文章化する。															
	7	【内容】	7. 都市のオフィス立地															
		【授業外学習】	各回のテーマに関して指定された参考図書を読んだ上で受講する。 講義内容に関して関心をもったことを調べたり、考えたことを文章化する。															
	8	【内容】	8. 都市の交通															
		【授業外学習】	各回のテーマに関して指定された参考図書を読んだ上で受講する。 講義内容に関して関心をもったことを調べたり、考えたことを文章化する。															
	9	【内容】	9. 都市のエスニック集団															
		【授業外学習】	各回のテーマに関して指定された参考図書を読んだ上で受講する。 講義内容に関して関心をもったことを調べたり、考えたことを文章化する。															
	10	【内容】	10. 小括															
		【授業外学習】	各回のテーマに関して指定された参考図書を読んだ上で受講する。 講義内容に関して関心をもったことを調べたり、考えたことを文章化する。															
	11	【内容】	11. 大都市圏構造															
		【授業外学習】	各回のテーマに関して指定された参考図書を読んだ上で受講する。 講義内容に関して関心をもったことを調べたり、考えたことを文章化する。															
	12	【内容】	12. 住宅と居住															
		【授業外学習】	各回のテーマに関して指定された参考図書を読んだ上で受講する。 講義内容に関して関心をもったことを調べたり、考えたことを文章化する。															
	13	【内容】	13. 都市問題・都市計画															
		【授業外学習】	各回のテーマに関して指定された参考図書を読んだ上で受講する。 講義内容に関して関心をもったことを調べたり、考えたことを文章化する。															
14	【内容】	14. 都市を歩く																
	【授業外学習】	各回のテーマに関して指定された参考図書を読んだ上で受講する。 講義内容に関して関心をもったことを調べたり、考えたことを文章化する。																
15	【内容】	15. 総括																
	【授業外学習】	各回のテーマに関して指定された参考図書を読んだ上で受講する。 講義内容に関して関心をもったことを調べたり、考えたことを文章化する。																
④ 授業方法	教科書を用いて講義形式で行う。できる限り受講生の発言機会を設け、理解度を確認しながら進める。レポート・確認テストのフィードバックの方法は、適宜授業中に伝える予定である。																	
④ 成績の評価方法	レポート、確認テストなどにより総合的に評価する。なお、レポートでは、都市に関する数量データを収集し、作表・作図を行ったうえで、そこから何を読み取ることができるかが問われる。また、確認テストについては、都市地理学に関わる基礎的な知識が修得できているか、都市の見方、考え方が修得できているか、といった観点から出題する。																	
④ 成績の評価基準	レポート(30点)、確認テスト(70点)の合計得点が60点以上を合格とする。																	
④ 教科書	<table><tr><td>No</td><td>書籍名</td><td>著者名</td><td>出版社</td><td>価格</td><td>ISBN/ISSN</td></tr><tr><td>1.</td><td>『都市の人文地理学』</td><td>稲垣 稜</td><td>古今書院</td><td>2200</td><td>ISBN978-4-7722-5325-3</td></tr></table>						No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN	1.	『都市の人文地理学』	稲垣 稜	古今書院	2200	ISBN978-4-7722-5325-3
No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN													
1.	『都市の人文地理学』	稲垣 稜	古今書院	2200	ISBN978-4-7722-5325-3													
④ 参考文献																		
④ 備考	教科書だけでなく、その中で引用されている書籍や論文を読むことを薦める。																	
④ 関連ホームページ																		
④ メールアドレス	大塚 俊幸 otsuka@fsc.chubu.ac.jp																	